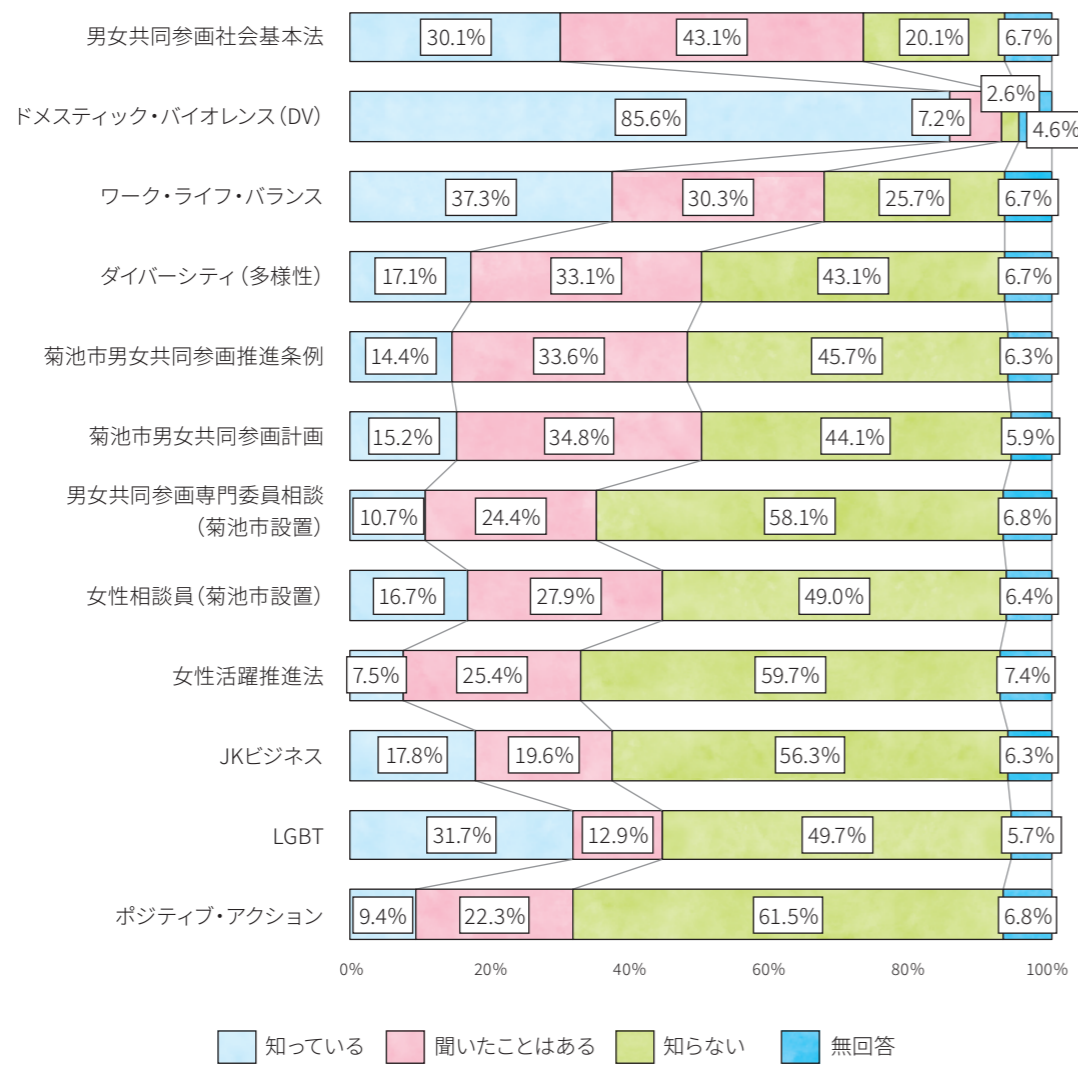


○男女共同参画に関する用語の認知度



“認知している”(「知っている」と「聞いたことはある」の合計)の割合では、「ドメスティック・バイオレンス (DV)」が最も高くなっています。

一方、「知らない」の割合では、「ポジティブ・アクション」(61.5%)、「女性活躍推進法」(59.7%)、「男女共同参画専門委員相談(菊池市設置)」(58.1%)、「JKビジネス」(56.3%)が5割を超える結果となっています。

2019(平成31)年 3月 男女共同参画 社会づくりのための 菊池市民意識調査

調査結果報告書 概要版

調査の概要

- 調査地域 … 菊池市全域
- 調査対象者 … 市内在住の20歳から75歳の男女を住民基本台帳より無作為抽出
- 対象者数 … 2,000件
- 調査方法 … 郵送による配布・回収
- 調査時期 … 平成30年8月
- 回収数(率) … 735件(36.8%)

菊池市 男女共同参画社会づくりのための菊池市民意識調査 調査結果報告書(概要版)

編集・発行/菊池市総務部男女共同参画推進課 2019(平成31)年3月 〒861-1392 熊本県菊池市隈府888番地
TEL/0968-25-7210 FAX/0968-25-5720 e-mail:danjo@city.kikuti.lg.jp

2019(平成31)年 3月
熊本県 菊池市

1 男女平等に関する考え方について

○社会のいろいろな面において、男女は平等になっていると思いますか。

「平等である」との回答で、上位に挙げた項目

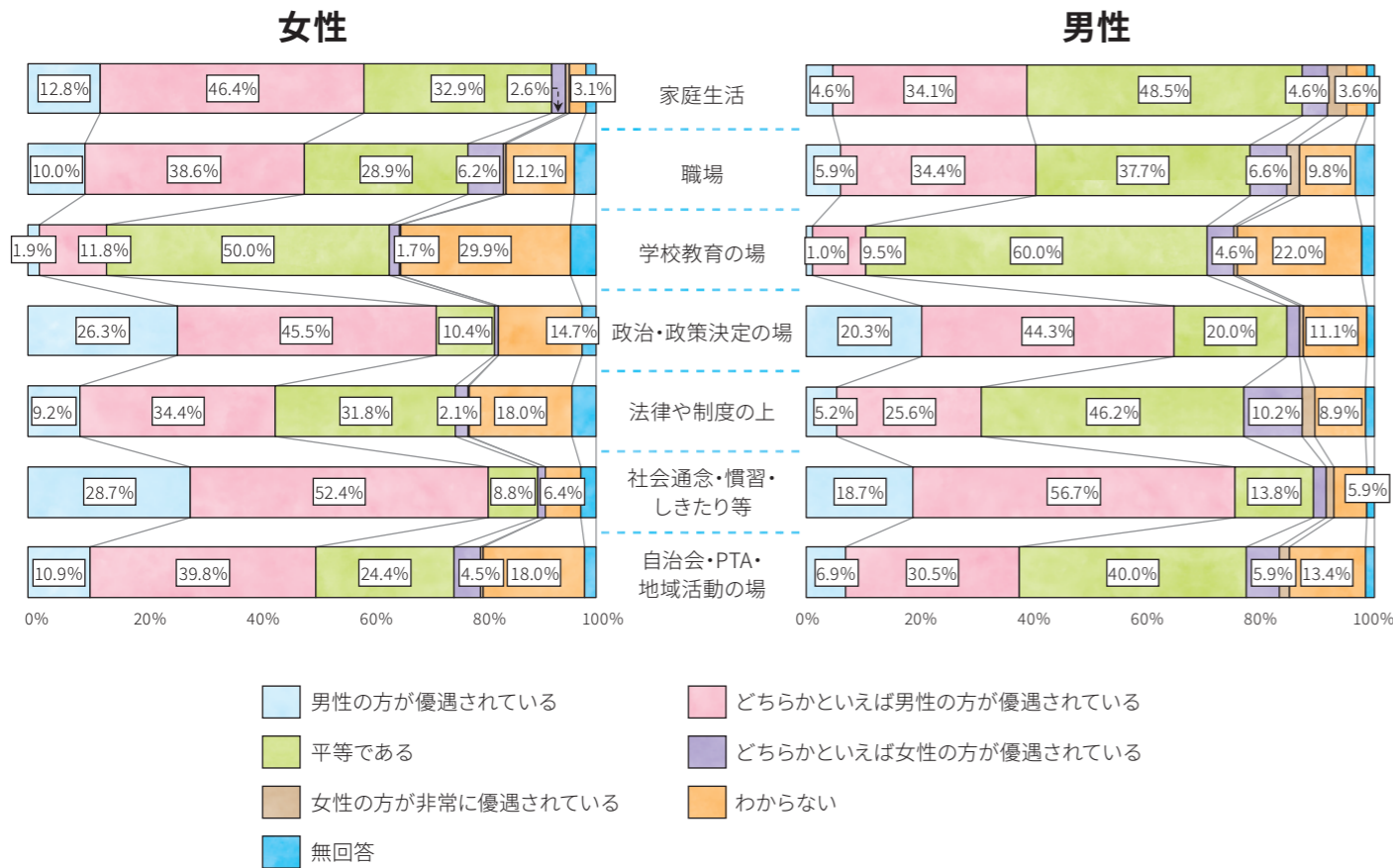
- 1 学校教育の場……………女性**50.0%**、男性**60.0%**
- 2 家庭生活の場……………女性**32.9%**、男性**48.5%**
- 3 法律や制度の上……………女性**31.8%**、男性**46.2%**



男性の方が優遇されていること ※「優遇されている」と「どちらかといえば優遇されている」の合計

- 女性では
- 1 社会通念・慣習・しきたり等……………**81.1%**
 - 2 政治・政策決定の場……………**71.8%**
 - 3 家庭生活の場……………**59.2%**

- 男性では
- 1 社会通念・慣習・しきたり等……………**75.4%**
 - 2 政治・政策決定の場……………**64.6%**
 - 3 職場……………**40.3%**



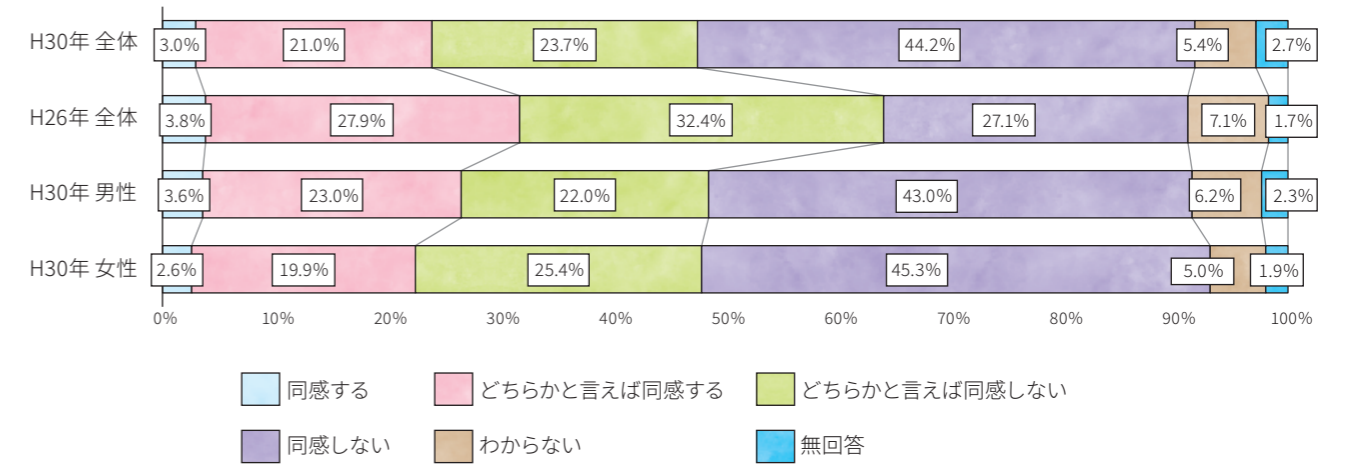
「学校教育の場」では50%を超える割合の人が平等と回答していますが、「政治・政策決定の場」、「社会通念・慣習・しきたり等」では平等と回答している人の割合が10%台となっています。総じて、女性の方が男性よりも「平等である」と回答している人の割合が低くなっています。

2 家庭生活の役割分担について

○「男は仕事、女は家庭」など性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。

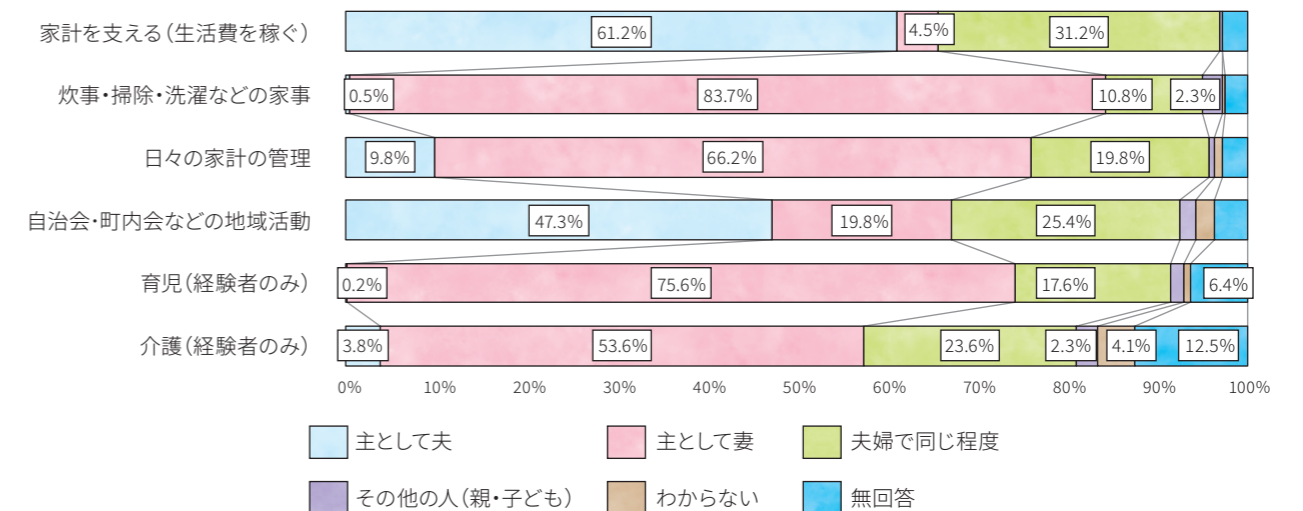
上位に挙げた項目

- 1 同感しない……………**44.2%** (女性**45.3%**、男性**43.0%**)
- 2 どちらかといえば同感しない……………**23.7%** (女性**25.4%**、男性**22.0%**)
- 3 どちらかといえば同感する……………**21.0%** (女性**19.9%**、男性**23.0%**)



“同感”（「同感する」と「どちらかといえば同感する」と回答した割合の合計）は24.0%となっており、前回調査と比較すると8%程度減少しています。一方、“同感しない”（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」と回答した割合の合計）は67.9%となっており、前回調査と比較すると8%程度増加しています。

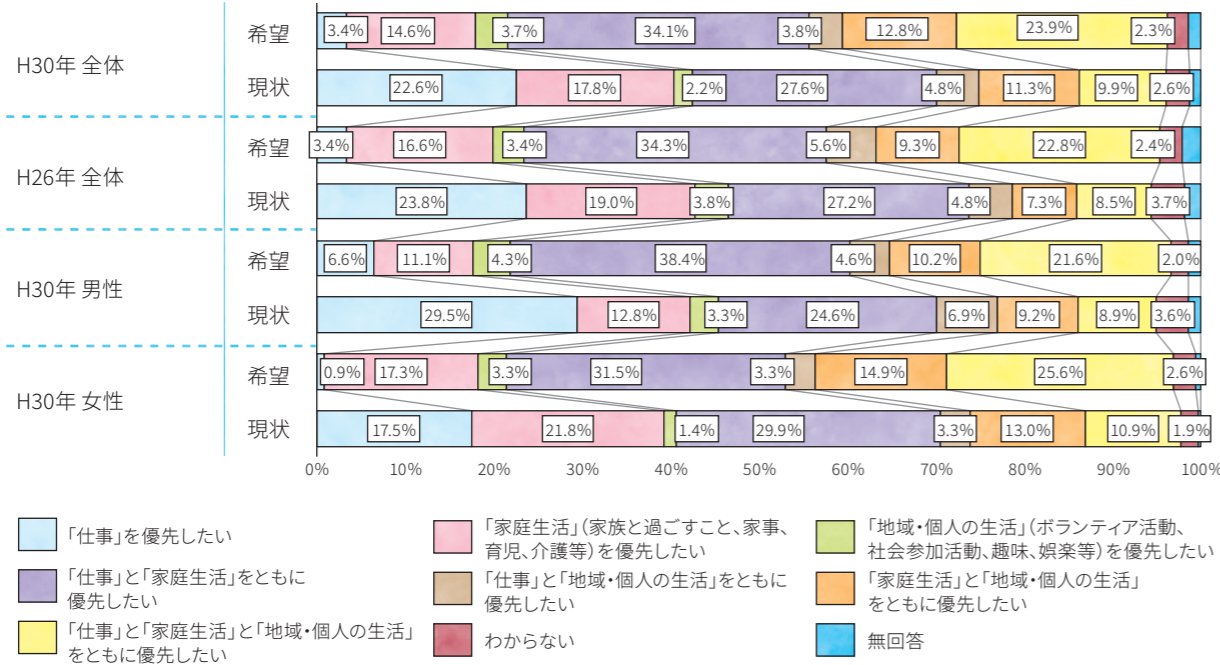
○あなたの家庭では、次にあげる家庭内の仕事を、主にどなたがしていますか。



「家計を支える」と「自治会・町内会などの地域活動」を夫の役割としている家庭が多く、「家事」、「日々の家計の管理」、「育児」、「介護」については妻の役割としている家庭が多い結果となっています。このことから、今もなお、性別による固定的な役割分担意識が残っていることがうかがえます。

3 仕事と家庭・地域生活について

○あなたが生活を送るうえで、希望と現状について最も近いものをお答えください。

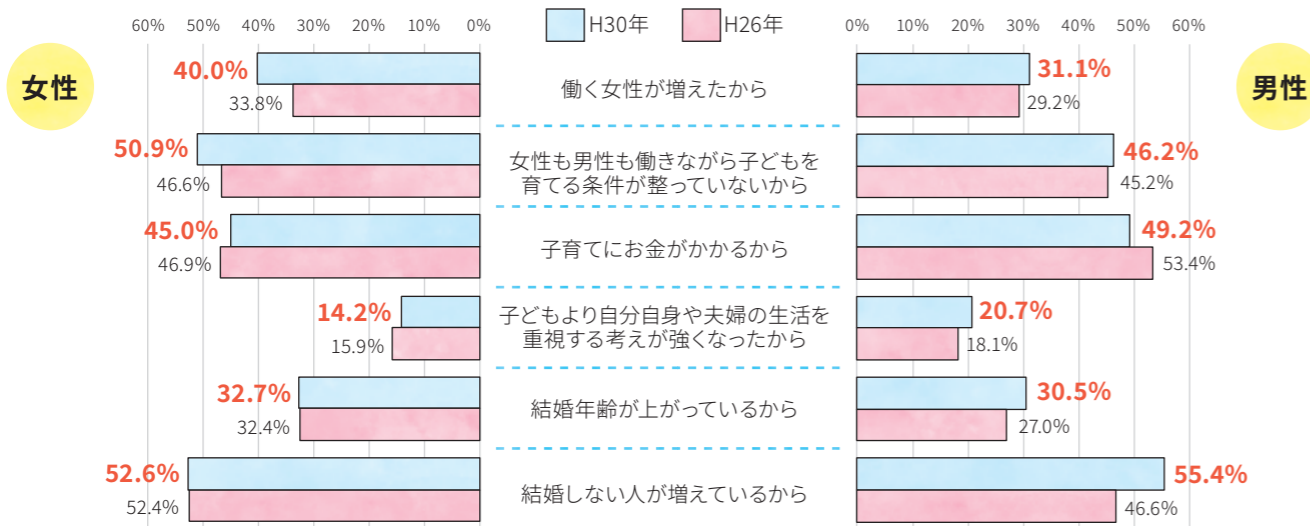


全体では、「仕事を優先」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が希望と現状の間に大きな乖離が見られます。

「仕事を優先」については、女性においても希望と現実に大きな乖離が見られ、その差は約20倍(希望:0.9% → 現実:17.9%)となっています。

4 出生率低下について

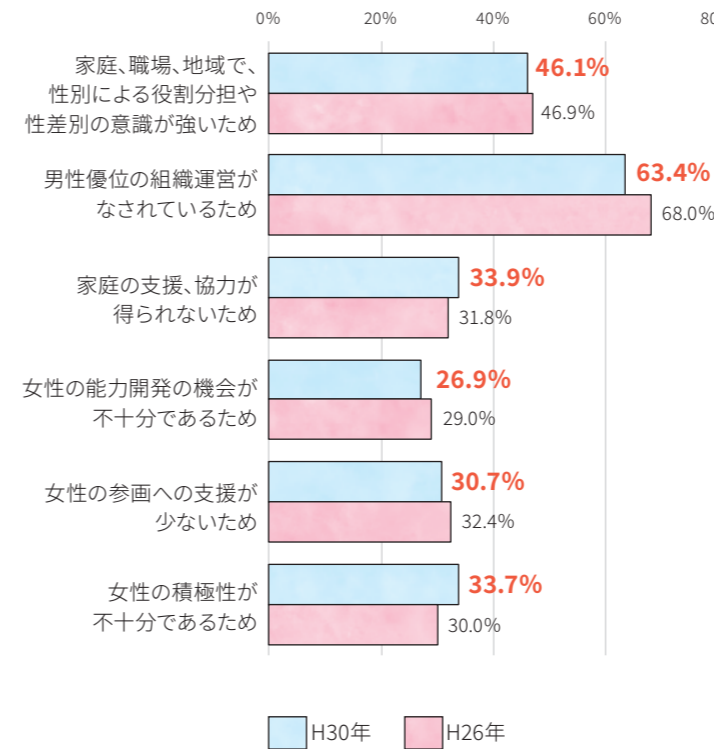
○今、女性が一生において生む子どもの数が少なくなっていると言われていますが、その原因はどこにあると考えますか。



男女ともに「結婚しない人が増えているから」、「女性も男性も働きながら子どもを育てる条件が整っていないから」、「子育てにお金がかかるから」といった回答の割合が高くなっています。

5 女性の社会参画について

○「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や決定の場に女性の参画がまだまだに少ない」といわれていますが、その原因は何だと思いませんか。



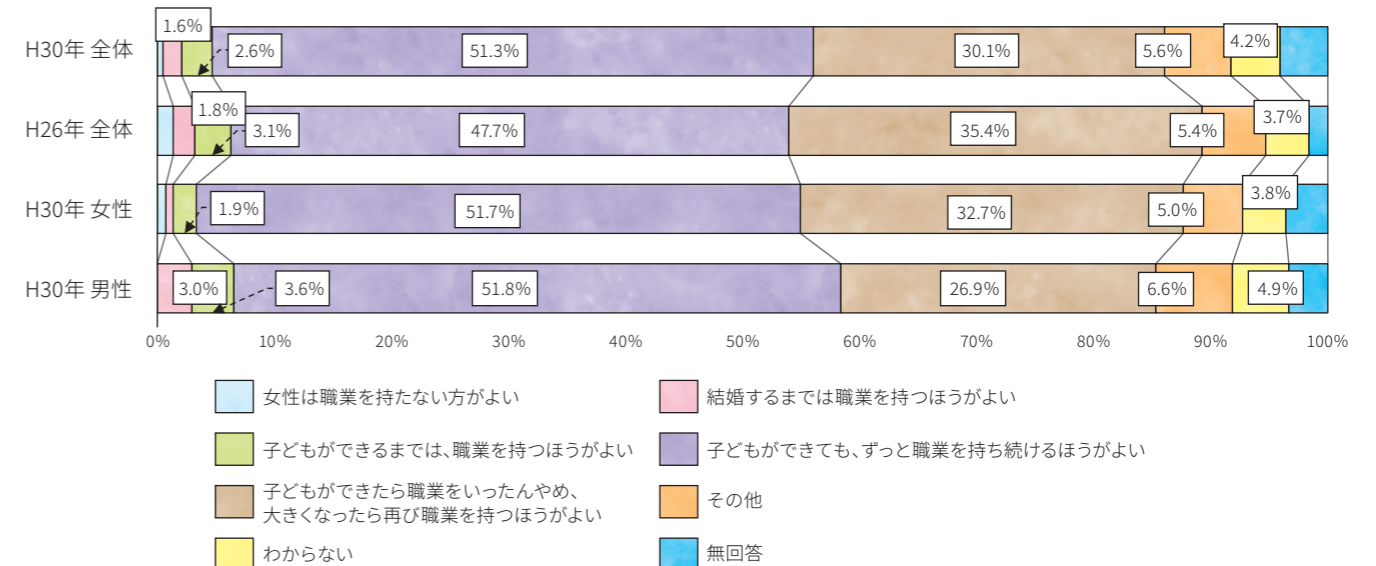
上位に挙げた項目

- 1 男性優位の組織運営がなされているため…………… **63.4%**
- 2 家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため…………… **46.1%**
- 3 家庭の支援、協力が得られないため…………… **33.9%**

男性優位の組織運営がなされているため」の割合が最も高く、いまだに様々な場における性別による役割分担意識が強く存在することが課題として挙げられます。

6 女性が職業を持つことについて

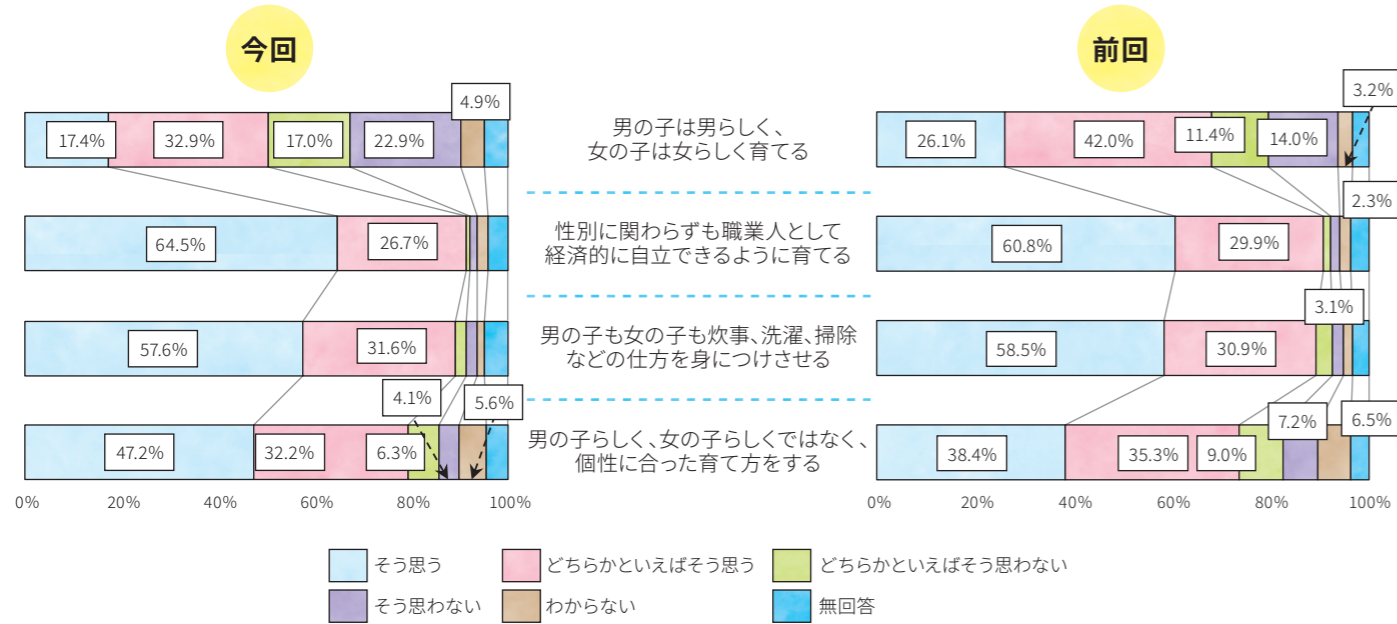
○女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。



子どもができて就業を継続する、もしくは中断後に再就職するという回答が8割を占めています。一方、結婚・出産を機に離職する方がいいという考え方は少数である上に前回調査よりも減少傾向にあり、女性の回答の割合では、男性と比較してさらに低くなっています。

7 子育て、教育について

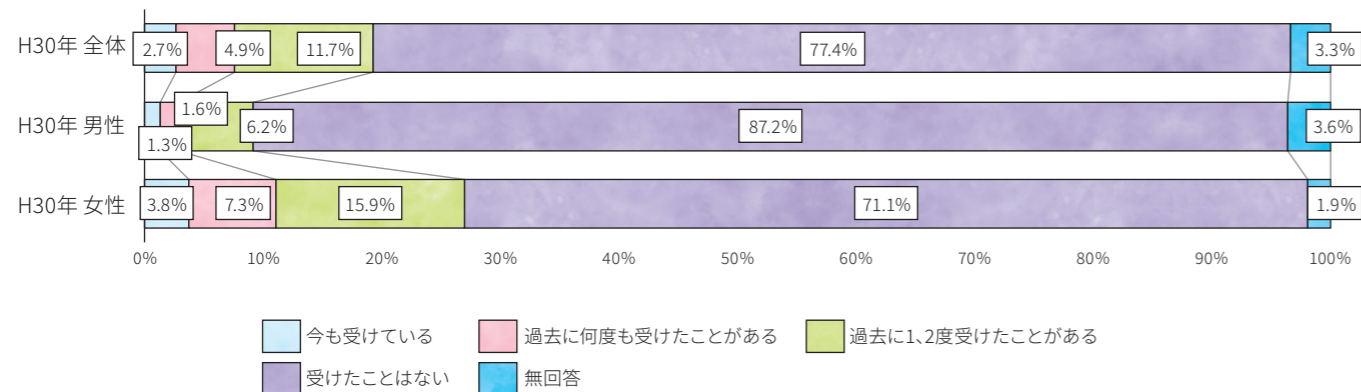
○あなたは、子どもの育て方についてどのように考えますか。



「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という、固定観念的に男女を区別した方針については、「賛成派」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が前回調査では68.1%であったのに対し、今回調査では50.3%と大きく減少しています。その他の項目では賛成派は9割前後を占めています。

8 配偶者等からの暴力について

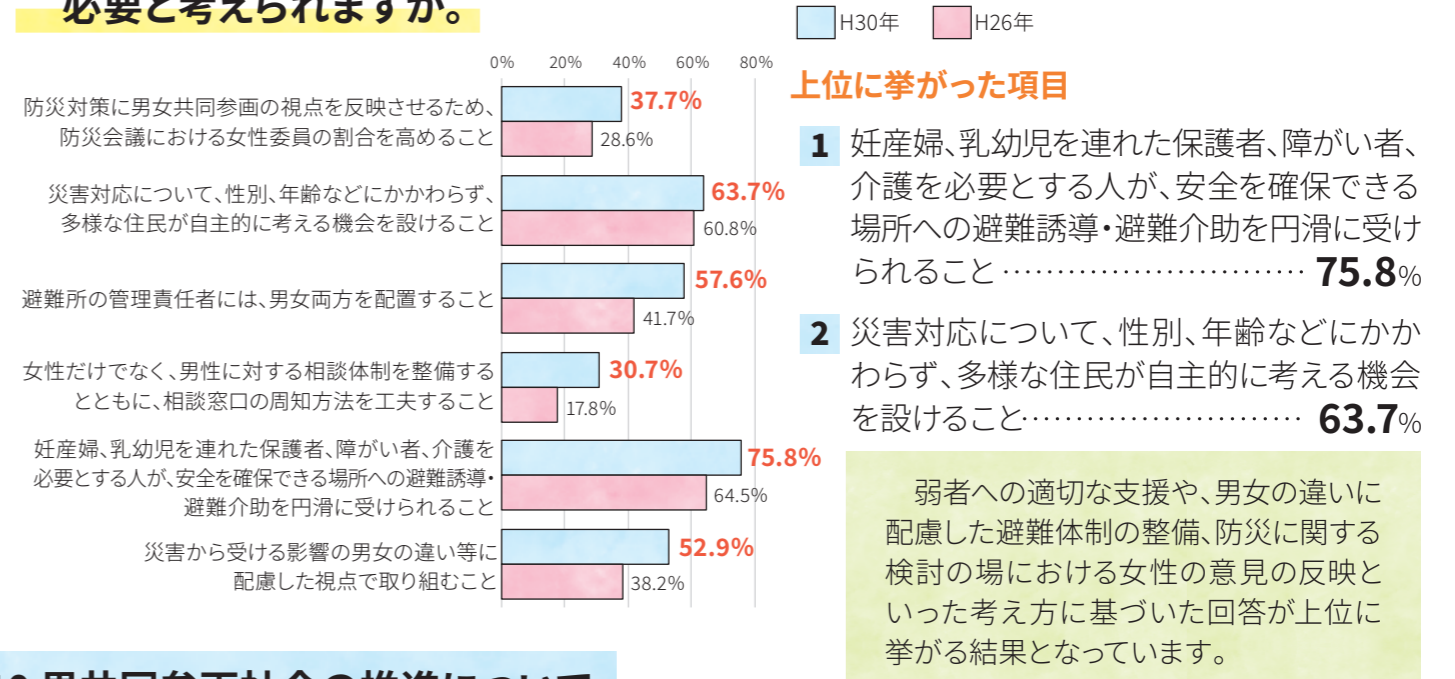
○あなたは、あなた自身が恋人や配偶者から身体的暴力や心理的攻撃や性的強要を受けたことがありますか。



“経験がある”（「今も受けている」と「過去に何度も受けたことがある」と「過去に1、2度受けたことがある」の合計）の割合は19.3%となっています。女性では“経験がある”の割合は27.0%となっており、およそ3人に1人がこれまでにDVの経験があるという結果となっています。

9 防災の分野における男女共同参画について

○防災の分野における男女共同参画の推進に関して、どのようなことが必要と考えられますか。



10 男共同参画社会の推進について

○男女共同参画社会の実現のために、菊池市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

